

流山の景気動向

流山商工会議所では、役員・議員・青年部員の事業所にご協力いただき、地域の景気動向を3か月ごとに調査しております。この度、みなさまからいただいた調査票をもとに、令和7年11月の結果がまとまりましたので、ご案内申し上げます。

次回調査は、令和8年2月となりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<調査概要>

○調査対象月

令和7年11月

○調査期間

令和7年12月1日から12月11日

○調査対象

流山商工会議所会員事業所

○回答数

建設7、製造7、卸・小売8、サービス16

合計38事業所

○調査項目

全国 LOBO に準拠した項目および向こう3ヶ月の見通し
(DI 値を集計)

○付帯調査

設備投資の動向

生成 AI の活用状況



流山商工会議所

❖流山の景気動向【概要】

全産業合計の業況DIは、+2.6（前回比+16.5ポイント）。全国DIと比較すると+20.5ポイント。前回調査と比較すると売上高と採算、業況の主要三指標が全産業でプラス（建設業の業況を除く）に転じ、明るさが増している。しかし、製造業や建設業では極度の人手不足感や仕入単価の継続的な高騰が今後の懸念材料として残る。

生成AIの活用状況は、半数が利用しており、活用を検討している事業所を含めると73.8%となっているが、情報の正確性など、課題も多いようである。

























<流山おおたかの森S Cの概況>

引き続き映画館が好調、また寒さが進んだことで衣料品も伸長、駅前広場のイベントも好調で、全体的に前年超過の好結果となった。売上106.1%、入館客数105.9%







<流山工業団地の概況>

求人募集してもなかなか応募がないため、今後は、女性で製造業に興味ある方を集め、企業説明会、インターンシップ（職場体験）などを実施し、雇用を確保できるような事業を考えたい。

❖流山の全産業天気図

天気図		業況		売上		採算		仕入単価		従業員		資金繰り	
		今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き
全産業	流												
	山	2.6	7.9	2.6	5.3	2.6	10.5	▲ 60.5	▲ 50.0	39.5	36.8	▲ 5.3	7.9
	全												
	国	▲ 17.9	▲ 17.7	▲ 3.7	▲ 5.8	▲ 18.5	▲ 17.2	▲ 63.1	▲ 51.4	22.7	21.8	▲ 13.2	▲ 12.8

凡例



特に好調
(DI ≥ 30)

好調
(30 > DI ≥ 15)

まあまあ
(15 > DI ≥ 0)

やや低調
(0 > DI ≥ ▲15)

低調
(▲15 > DI ≥ ▲30)

極めて低調
(DI < ▲30)

※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

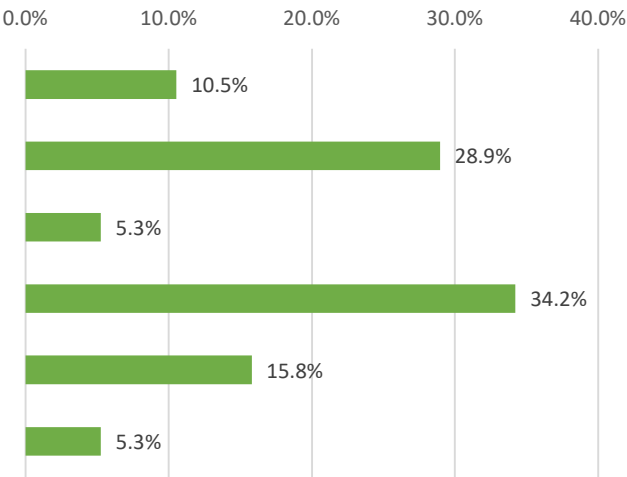
DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

❖付帯調査

1. 設備投資の動向

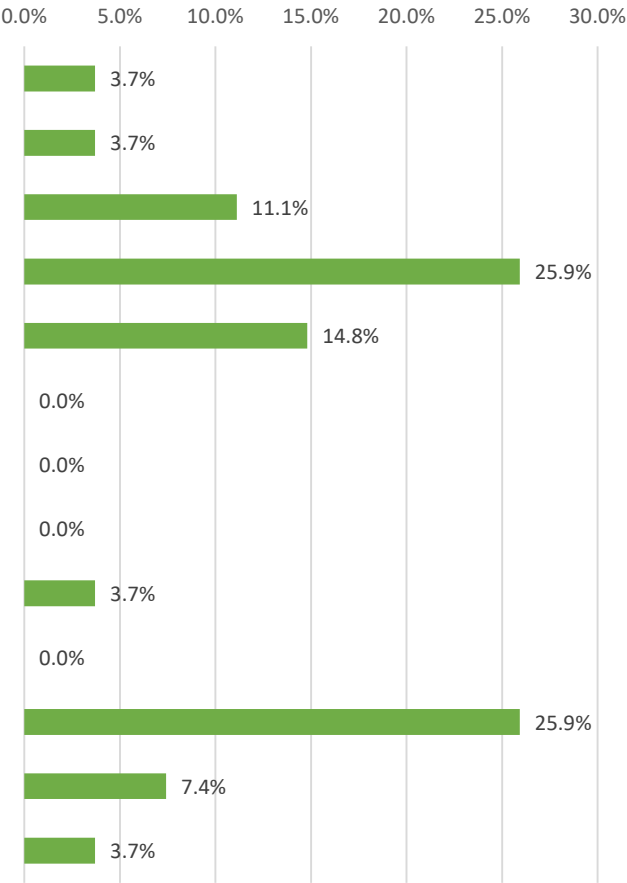
1－1. 2025年度の設備投資

- 1：規模を拡大して実施予定（実施済み含む）
- 2：2024年度と同水準で実施予定（実施済み含む）
- 3：規模を縮小して実施予定（実施済み含む）
- 4：実施しない・見送る（予定含む）
- 5：現時点では未定
- 6：回答不能



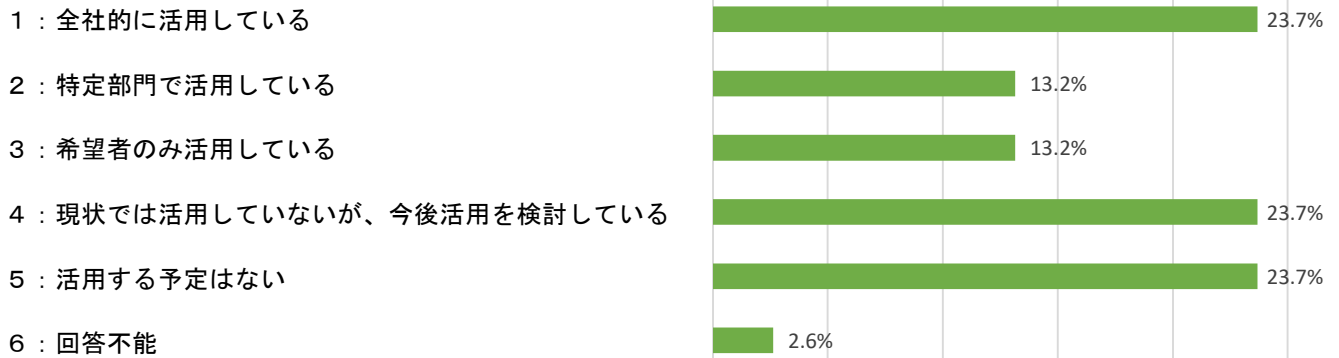
1－2. 設備投資を行う理由

- 1：主要な商品・サービスに一定の価格転嫁が可能となり、自己資金・財務体質が強化されたため
- 2：人手不足に対応するため
- 3：従業員の時間外労働や長時間労働の抑制のため
- 4：現在または将来の需要増に対応するため
- 5：既存事業からビジネスモデルを転換するため
- 6：資金調達が円滑になったため
- 7：設備投資コストが下落したため
- 8：販売や生産状況等のデータを収集するため
- 9：補助金や助成金等を活用できるため
- 10：税制面での優遇措置を活用できるため
- 11：設備の老朽化等に伴う更新のため
- 12：その他
- 13：回答不能

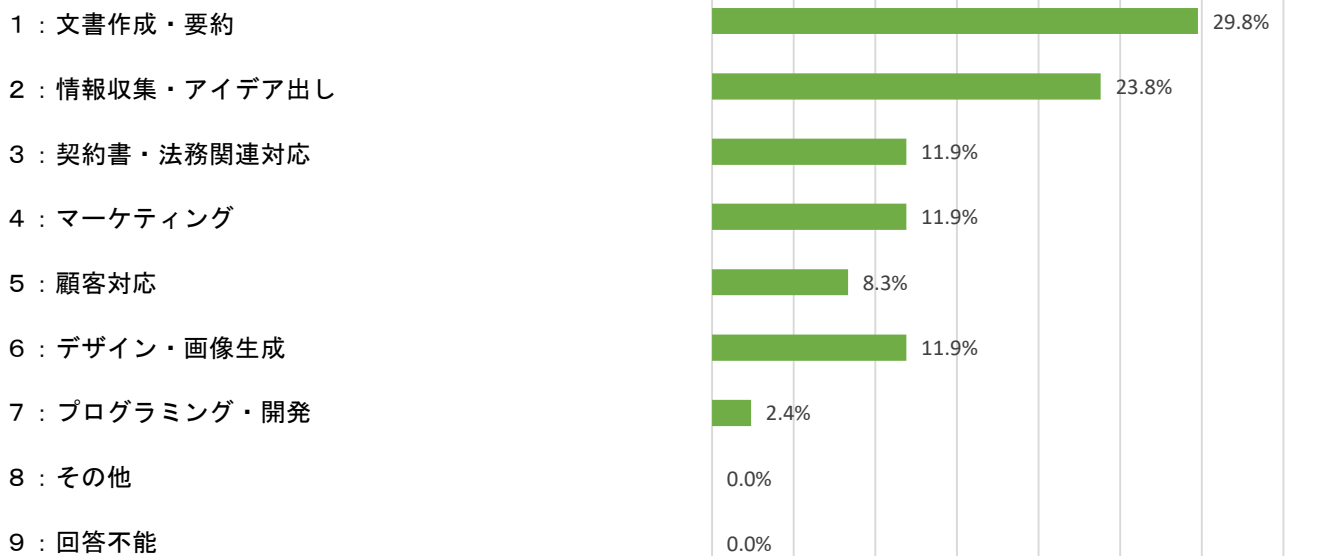


2. 生成A I の活用状況

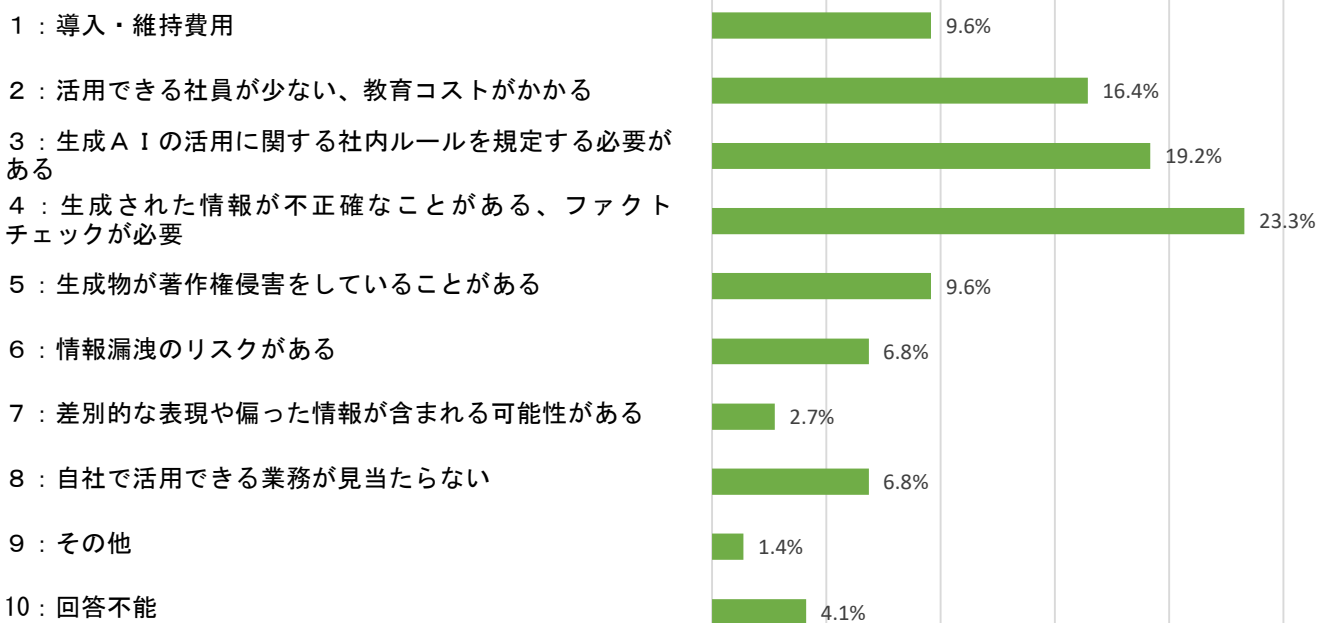
2-1. 生成A I の業務への活用状況



2-2. 生成A I を活用（活用を検討）している業務



2-3. 生成A I を活用するにあたっての課題



【コメント欄より一部抜粋】

- ・ 市場の消費動向の縮小傾向がより顕著になってきているを感じる。「より安く」を求める傾向が強くなっており、価格転嫁が鈍化している。
- ・ 国産原料は高騰、ユーティリティ設備や人件費の上昇で、値上げをしたいところであるが……
- ・ 経営に活用すべき、また取り組むべき観点として、A I とセキュリティが重要。
- ・ 他のジャンルへのクロスオーバーが必要な時期。ひとつのジャンルでは、縮小してしまう。
- ・ 10・11月は予想以上に好調だったが、中心事業は減益が続く。
- ・ インボイスのため、事務作業量が非常に増えている。